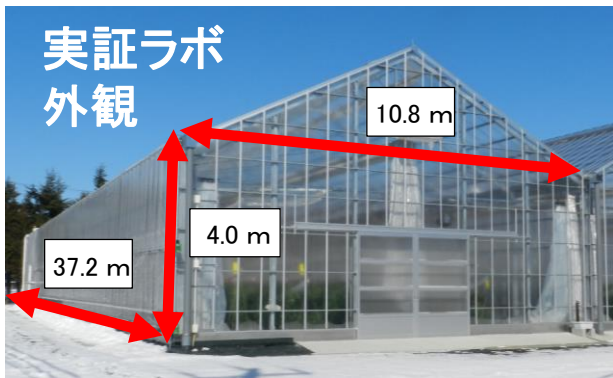


新しい技術を活用したトマト長期多段どり栽培の実証

施設園芸では、植物の生育に適した環境を作るための技術が開発されています。次世代技術実証普及担当では、近年普及しつつあるそれらの技術を「次世代技術」と呼び、トマト栽培でどの程度有用であるか、どんな考え方で管理する必要があるかを土耕ハウス（実証ラボ）で農家の方々に見ていただきながら実証しています。

実証ラボ 外観



研修会の開催

⇒県内生産者、農業関係者を対象として開催

- ・ 季節ごとの管理ポイントや試験状況の紹介
- ・ 生育・環境データの見方を助言



活発な意見交換、試験への反映

新しい技術の実証

⇒技術の導入と適切な栽培管理を行うことで

最大収量 **46.0t/10a**
(令和4年現在)

統合環境制御装置

炭酸ガス施用

チューブで施用

細霧冷房装置

LED補光装置

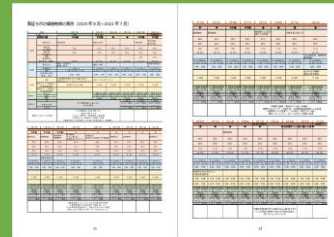
マニュアルの作成及び それに基づいた指導の実施

⇒実証成果をマニュアルとしてまとめ、管轄の農林振興センターで県内生産者等を対象に配布しています。

理解を深めるための出張講義も行っています。



生育状況の
把握手法の紹介



過去の管理事例も
参考として記載

新たな技術を導入し、効果的に活用するためには適切な栽培管理が不可欠です。研修会とマニュアルを活用して、設備と栽培技術をアップデートすることで確実な収益性向上を目指しましょう。